

## 6. 教育実習

### (1) 教育実習とは

教育実習とは、教育職員免許状取得に必要な要件であり、それまでに学んだ知識をもとに、一定期間大学を離れ、学校教育の現場で、教員としての知識・技能を現場の校長および指導教員のもとで修得することを目指している。

#### 1) 教育実習参加資格

- ①教育実習前年度に教育実習参加の申込手続をしていること。
  - ②教育実習前年度までに（標準的には3年次終了までに）下表の単位を修得していること。
- 参加資格の判定は実習実施年3月下旬開催の課程委員会にて行われ、有資格者を発表し、欠格者には個別に連絡する。

	科目名	教育実習参加のための条件
教職に関する科目（注1）	教育心理学	3年次終了までに修得
	教育原理Ⅰ 比較教育社会学（または教育原理Ⅱ）	どちらか1科目を3年次終了までに修得
	教育課程論（または教育課程の研究） 特別活動論 学校カウンセリングⅠ 学校カウンセリングⅡ 教育方法学	いずれか2科目を3年次終了までに修得
	教科教育法（実習教科（注3））	3年次終了までに4単位修得
教科に関する科目（注2）	実習教科（注3）について、3年次までに「免許法施行規則に定める科目区分（系列）」の必修科目・選択必修科目の中から各系列ごとに最低1科目以上を修得すること。	

注1. 「教職に関する科目」で条件を満たさない場合は、参加資格はない。実習校への辞退は課程センターからの呼び出し（2011年3月）の後、指示に従うこと。

注2. 「教科に関する科目」で1系列のみ修得がない場合は、課程委員会の判定会議の審議事項となる。

注3. 参加資格判定では実習教科に基づいて判定を行う。但し、実習教科で要件を満たさなかった場合は、下表の判定対象の教科でも判定を行う。

実習教科	判定対象の教科
英語	ドイツ語、フランス語、イスパニア語、ロシア語、ポルトガル語
社会	地理歴史、公民、福祉、宗教
地理歴史	社会、公民、福祉、宗教
公民	社会、地理歴史、福祉、宗教
数学	情報

#### 2) 教育実習校

原則として出身校で行う。国外の学校、日本人学校・日本の外国人学校出身者あるいは自身の出身校で実習の受入れが困難な場合は、東京都の公立学校に申し込むことができる。但し近年受入れの数に限りがあり、許可されない場合があるので、実習希望校に個人的に希望を申し出る等積極的な姿勢が望まれる。

#### 3) 教育実習時期・期間

①実習校の指示に従うこと。（例年5～6月が多い。）

②実習期間

中学校免許状取得の場合 3～4週間

高校免許状取得の場合 2週間

期間についても実習校の指示に従うこと。

## (2) 2011年度教育実習実施者の手続（標準年次：4年次）

### 1) 教育実習費納入

2011年度教育実習予定の学生は下記の要領にて、教育実習費・保険料を納入すること。（\*2011年度の教育実習申込は既に終了している。）

納入期間：2011年4月5日（火）～15日（金）
時間：9：30～11：30，12：30～17：00
教育実習費：実習校によって異なる。詳細は課程センター掲示板で確認すること。
保険料：150円（教育実習費が不要の場合でも、保険料の納入は必要）
納入方法：納入日時に窓口で配付する納入書に必要事項を記入し、教育実習費・保険料（2号館1階学事センター証紙販売機にて購入）を貼付して4号館1階課程センターに提出すること。

### 2) 「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」「教育実習Ⅲ」の履修登録

「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」「教育実習Ⅲ」は、教育実習が7月までに終了する場合は春学期，8月以降に終了する場合は秋学期に履修登録すること。但し，春学期の学籍状態が留学・休学の場合はすべて秋学期に登録すること。

「教育実習Ⅰ」は実習教科別のクラスになっているので，実習教科に対応するクラスに登録すること。

「教育実習Ⅰ」は4年次5回の事前指導および3回の事後指導による1単位 [全学生対象]。

「教育実習Ⅱ」は教育実習2週間による2単位 [全学生対象]。

「教育実習Ⅲ」は教育実習2週間を超えた1～2週間による2単位 [中学免許取得希望の者のみ対象]。

但し，高校免許状のみ取得希望であっても3週間以上の実習を行う予定の者は，「教育実習Ⅲ」も併せて履修登録を行うこと。

### 3) 「教育実習Ⅰ」（教育実習事前事後指導）

2011年度の「教育実習Ⅰ」（教育実習事前事後指導）は下表のとおり。

実習時期	実習教科	国語	英語・その他外国語		社会・公民・宗教・商業	福祉	地理歴史	数学・情報	理科		
			外国語学部所属学生以外/科目等履修生対象	外国語学部所属学生対象							
事前指導	第1～3回	日程	4月9日(土)								
		時間	9：15～10：45，11：00～12：30								
		日程	4月16日(土)								
		時間	11：00～12：30								
		担当教員	課程センター教員 他								
	第4回	日程	4月23日(土)	4月23日(土)	4月23日(土)	4月23日(土)	4月16日(土)	4月16日(土)	4月16日(土)	4月16日(土)	
		時間	11:00～12:30	9:15～10:45	13:30～15:00	11:00～12:30	13:30～15:00	13:30～15:00	13:30～15:00	15:15～16:45	
		担当教員	小林 幸夫	池田 真	東郷 公德	松原 宏樹	大塚 晃	児嶋 由枝	角皆 宏	中込 真 木川田喜一	
		第5回	日程	4月23日(土)	4月23日(土)	4月23日(土)	4月23日(土)	4月16日(土)	4月16日(土)	4月23日(土)	4月23日(土)
			時間	13:30～15:00	11:00～12:30	15:15～16:45	13:30～15:00	15:15～16:45	15:15～16:45	13:30～15:00	11:00～12:30
担当教員	瀧 康秀	池田 真	向後 秀明	長町 裕司	大塚 晃	児嶋 由枝	針谷 修	木川田喜一			
事後指導	第1回	日程	7月23日(土)	7月23日(土)	7月23日(土)	7月23日(土)	7月23日(土)	7月23日(土)	7月23日(土)	7月23日(土)	
		時間	9:15～10:45	9:15～10:45	9:15～10:45	9:15～10:45	9:15～10:45	9:15～10:45	9:15～10:45	9:15～10:45	
		担当教員	小林 幸夫	田嶋 英治	東郷 公德	長町 裕司	大塚 晃	児嶋 由枝	角皆 宏	木川田喜一	
		第2回	日程	7月23日(土)	7月23日(土)	7月23日(土)	7月23日(土)	7月23日(土)	7月23日(土)	7月23日(土)	7月23日(土)
			時間	11:00～12:30	11:00～12:30	11:00～12:30	11:00～12:30	11:00～12:30	11:00～12:30	11:00～12:30	11:00～12:30
	担当教員	瀧 康秀	清水 公男	東郷 公德	長町 裕司	大塚 晃	児嶋 由枝	針谷 修	木川田喜一		
	第3回	日程	7月23日(土)								
		時間	13:30～15:00								
		担当教員	課程センター教員 他								
	第1～3回	日程	12月10日(土)								
時間		9：15～10：45，11：00～12：30，13:30～15:00									
担当教員		課程センター教員 他									

\*教室は4月以降Loyolaおよび課程センター掲示板で確認すること。

\*上記日程は変更となる場合があるので，随時Loyolaおよび課程センター掲示板で確認すること。

\*「教育実習Ⅰ」は授業であるため，出席をとる。

\*実習教科「英語・その他外国語（外国語学部所属学生以外/科目等履修生対象）」については，遅刻を認めない。

\*科目等履修生（教科：英語・その他の外国語の者）は，外国語学部所属学生以外対象の方へ出席のこと。

#### 4) 教育実習実施

『教育実習の手引き』参照のこと。

#### 5) 『教育実習日誌』・学習指導案

『教育実習日誌』・学習指導案は、実習校の総合所見が記入され、返却され次第すみやかに課程センターまで提出すること。提出が遅れると、成績評価に支障をきたすので注意すること。

#### 6) 教育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの成績評価

教育実習事前事後指導の出欠席・『教育実習日誌』・指導案・出勤簿・教育実習学生評価表にもとづいて成績を評価する。

#### 7) 教育実習中の授業欠席

教育実習期間中に授業を欠席する場合は、各自で願い書（p.35参照）を作成し事前に授業担当教員に相談の上、提出すること。

#### 8) 教育実習の辞退

教育実習の申込をした者は、留学・志望変更などいかなる理由が生じても、教育実習の辞退は一切認めない。但し、資格判定の結果、無資格者には辞退させる。やむを得ない理由で辞退する場合は、ただちに課程センターに申し出ること。この場合、実習費等は返還しない。

### (3) 2012年度教育実習実施予定者の手続（標準年次：2年次）

#### 1) 教育実習準備ガイダンス

教育実習履修の前々年度に、教育実習についての手続方法等のガイダンスを行う。

日時・場所：2011年1月24日（月）18：45～20：15 3-521  
対 象：2012年度教育実習実施希望者  
内 容：教育実習校への実習依頼にあたっての手続等について  
配付物：2012年度教育実習依頼について、2012年度教育実習受入回答書、他  
\*上記ガイダンスは、既に終了している。

#### 2) 教育実習校への訪問・実習受入れ依頼 [2011年1月～6月]

原則として、出身校に依頼すること。やむを得ず出身校に依頼できない場合（出身校が国外である、日本の外国人学校、出身校での教育実習希望者が多く抽選に漏れた等）は、居住地や実家周辺の公立学校などに依頼してみる。それでも受入先が見つからない場合は早めに課程センターに相談に来ること。但し、本学では実習校を斡旋していない。

なお、依頼の際は、上記1)のガイダンスで配付した実習校への依頼書類等を持参すること（東京都公立学校の場合は不要）。

##### 【注意事項】

- ・実習校によっては、先着順、選考試験等を課する場合がありますので、早めに依頼することが望ましい。
- ・依頼にあたっては、必ず事前に先方の学校に電話をし、訪問する日時等について約束をとること。  
約束なしに訪問することは失礼になるため、決して行わないこと。
- ・実習校に訪問する際は、服装・頭髪等に気を付け、失礼のないよう十分に注意すること。
- ・出身校以外の学校に依頼する場合は、大学所定の依頼に関する書類の他、市販の履歴書を記入のうえ持参すること。
- ・実習校は中学、高校のどちらでもよいが、中学の免許を取得希望するものは3週間以上の実習が必要。

#### 3) 東京都公立学校教育実習申込

東京都内の公立学校で教育実習を希望する者は、あらかじめ実習を希望する学校に連絡し、口頭で内諾を得ておくこと（中学校は、市区町村によって内諾の必要がない場合がある）。また、必ず次の申込手続をすること。

日時：2011年9月20日（火）～27日（火） 9：30～11：30、12：30～17：00  
場所：課程センター  
提出物：東京都公立学校教育実習申請書（窓口で配布）

#### 4) 教育実習参加予定者掲示

受入回答書が実習校から大学に送付された方を掲示するので、課程センターで受入回答書の写しを受領すること。実習校に申し込んでいて掲示にない場合は、課程センターに問い合わせること。

日時：2012年1月11日（水）  
場所：課程センター掲示板

#### 5) 教育実習費確認

教育実習に係る費用は実習校により異なる。教育実習費は、原則として本学から実習校に送金するが、実習生が持参することもある。各自の実習に係る費用については、2012年3月27日（火）に課程センター掲示板に掲示するので確認すること。

#### 6) 教育実習費納入

上記4)によって、確認した各自の実習費の支払を下記日程で行うこと。

手続期間：2012年4月5日（火）～15日（金）  
時間：9：30～11：30，12：30～17：00  
場所：課程センター（4号館1階）  
教育実習費：実習校により異なる。2012年3月27日に課程掲示板で各自の実習費を確認すること。  
教育実習に伴う賠償保険料：一律 150円  
納入方法：課程センターで所定用紙を受け取り、必要箇所を記入のうえ、証紙（2号館1階学事センター証紙販売機にて購入）を貼付して提出する。

### (4) 2013年度教育実習実施予定者の手続（標準年次：2年次）

#### 1) 教育実習準備ガイダンス

教育実習履修の前々年度に、教育実習についての手続方法等のガイダンスを行う。  
教育実習に係る非常に重要なガイダンスであるため、必ず出席すること。

日時：2012年1月23日（月） 18：45～20：15  
場所：3-521  
対象：2013年度教育実習実施希望者  
内容：教育実習校への実習依頼にあたっての手続等について  
配付物：2013年度教育実習依頼に必要な書類、他

\*上記以降の教育実習に係る手続については、上記ガイダンスおよび『2012年度履修要覧（課程編）』等で再確認すること。